

## 長野県支部だより 第16号

### 【事故から10年】軽井沢スキーバス事故慰霊 ～ 命の尊さを次世代へ～

2026年1月12日

15人が死亡、26人が重軽傷を負った2016年の悲痛な事故から10年という大きな節目を迎え、**法政大学後援会長野県支部**は今年も軽井沢にて慰霊行事を執り行いました。当日は厳しい寒さの中、本部役員、尾木直樹名誉教授、群馬県支部もが駆けつけ、共に祈りを捧げました。



ゼミの教え子4人を事故で亡くした尾木直樹先生は、毎年欠かさず献花に訪れています。先生は慰霊碑の前で「みなさんの犠牲の上に、この10年で安全対策が進んできました。これからも更に安全な社会となるよう取り組んでいきますから、どうぞ安心してください」と語りかけられました。私たち父母後援会もその思いを共有し、共に静かに手を合わせました。

長野県支部から19名、群馬支部から2名、本部より佐々木会長、山口総務、大学より尾木教授、島田課長が参加されました。マスコミの取材も多く、その日は各局のニュースに取り上げられました。



長野・群馬後援会  
慰霊碑に献花▼



### 懇親昼食会

▲ 澄み渡る青空の下での記念撮影



慰霊の後は、軽井沢プリンスホテル内のレストランで懇親昼食会を開きました。美味しい食事をいただきながら子どもたちの学生生活や就活状況、大学/本部/支部活動について等々・色々なことを語り合い、とても楽しく有意義な親睦会となりました。

